

## オオニワゼキショウ (大庭石菖)

名前の意味<sup>いみ</sup>：大きなニワゼキショウの意味。ニワゼキショウは、庭に生えている葉がサトイモ科の石菖（せきしょう）に似ている草の意味。

分類：単子葉類、アヤメ科、ニワゼキショウ属

(アヤメ科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：アヤメ、クロッカス、グラジオラス)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：本州

原産地：北米

特徴：2つの折れた葉が集って、<sup>おおぎ</sup>扇状になる。6弁の薄紫色の花。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数<sup>りべん</sup>：離弁、6裂<sup>れつ</sup>

花の時期：5－7月

食べ方：食べない

見分け方：オオニワゼキショウは、ニワゼキショウと比べて体が大きく、花の色が青味<sup>あお</sup>を帯びた紫色であることで区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度<sup>そうごうなんいど</sup> ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)